

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く  
**都道府県別訪日外客数と訪問率**  
月次指標の早期推計：3月レポート

野村亮輔（副主任研究員）  
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）  
松林洋一（APIR 上席研究員）  
内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

**ポイント**

●4月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表4)、3月の訪日外客総数(推計値)は**308万1,600人**であった。イースター休暇や桜の開花シーズンの影響もあり、**単月として初めて300万人を超えた**。2019年同月比では+11.6%と2カ月連続のプラス(前月:同+7.1%)。なお、**中国人客を除いた総数は262万9,200人**(同+27.1%)で、**9カ月連続でコロナ禍前上回った**。同月の出国日本人数は121万9,800人であった。4カ月ぶりに100万人超の水準となったが、依然コロナ禍前の6割程度(同-36.8%)の回復にとどまっている。結果、**1-3月期の訪日外客数は855万8,078人**となった。**19年同期比+6.3%と2四半期連続のプラス**(10-12月期:同+3.0%)。また、出国日本人数は303万7,266人であった(同-38.2%)。

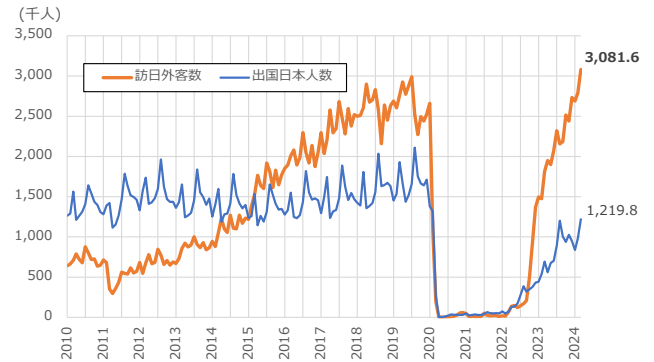
▶訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると(図2及び表4)、3月は**韓国が66万3,100人**(2019年同月比+13.2%)と**最多**であった。次いで台湾が48万4,400人(同+20.4%)、中国が45万2,400人(同-34.6%)、米国が29万100人(同+64.3%)、香港が23万1,400人(同+35.0%)と続く。なお、**米国、ベトナム、カナダ、ドイツ、インド**等が単月として過去最高値を更新。

▶目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(図3及び表5)、1月は**268万8,478人**となった(2019年同月比-0.0%)。うち、**観光客は238万6,640人と4カ月連続で200万人を超える水準**となった(同+1.8%)。商用客は8万8,781人(同-35.9%)、その他客は21万3,057人(同+3.6%)であった。19年同月比で見ると、**観光客は4カ月連続のプラス**となり、**その他客は20年1月(同+25.5%)以来のプラス**に転じた。

▶観光客のTOP5を国・地域別にみれば(表4)、1月は韓国が**82万1,971人**(2019年同月比+13.6%)と**最多**であった。次いで台湾が47万4,810人(同+29.3%)、中国が32万5,521人(同-50.3%)、香港が18万2,289人(同+21.7%)、米国が11万3,870人(同+51.3%)と続く。なお、韓国、台湾と豪州が単月として過去最高値を更新した。

▶先行きの訪日外客数は引き続き中国を除くアジア地域や欧米を中心に増加が見込まれよう。また、1人当たりの消費単価が着実に上昇しており、コト消費も増加しつつある(後掲トピックス3参照)。観光立国推進閣僚会議(2024年4月17日)で述べられているように、今後は日本における受入体制の強化に加え、各地域の観光資源の一層の磨き上げがより重要となる。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移

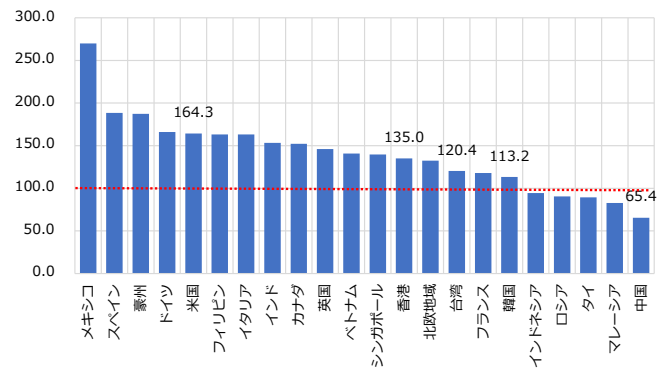


出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 2022年まで確定値、23年、24年1月は暫定値、24年2-3月は推計値

図2 国・地域別コロナ禍前との水準比較：24年3月

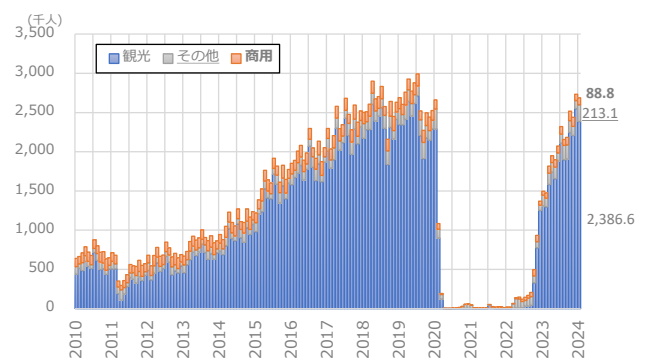
(2019年3月=100)



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。

注) なお、TOP5の国・地域は値を表示している。

図3 目的別訪日外客数推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から2カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

\*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが2023年9月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待って今後再開する予定である。

## トピックス 1

### ● 3月関西の財貨・サービス貿易及び2月のサービス産業動向

▶ 関西3月の輸出は前年同月比+1.5%と2カ月ぶりの増加(前月:同-1.0%)。一方、輸入額は同-13.6%と2カ月ぶりの減少となった(前月:同+2.9%)。関西の貿易収支は+5,133億円と2カ月連続の黒字となり、黒字幅は同+95.2%拡大した(前月:同-22.8%)(図4)。結果、1-3月期の貿易収支は+6,672億円と6四半期連続の黒字となり、黒字幅は前年同期比+192.5%拡大した(10-12月期:同+134.0%)。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、関西3月の対中輸出は前年同月比+1.9%と2カ月ぶりに増加した(前月:同-7.0%)。輸出増に寄与したのは半導体等製造装置や映像機器等であった。一方、対中輸入は同-21.7%と2カ月ぶりの減少(前月:同+13.0%)。輸入減に寄与したのは通信機や衣類及び同附属品等であった。1-3月期の対中輸出は前年同期比+4.1%と5四半期ぶりに増加(前期:同-1.9%)。対中輸入は同-8.8%と4四半期連続で減少したものの、前期(同-10.4%)から減少幅は縮小した。

▶ 3月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は77万2,640人となり、開港以来、過去最高値を記録した(前月:71万5,170人)(図6)。2019年同月比では+6.4%と4カ月連続のプラス(前月:同+6.0%)。また、日本人出国者数は24万2,657人。2019年同月比では-40.0%となった(前月:同-40.1%)。結果、1-3月期では訪日外客数は218万8,212人で、19年同期比+4.4%と2四半期連続のプラスとなった(10-12月期:同+3.8%)。一方、日本人出国者数は57万6,321人となり、コロナ禍前の6割程度の回復(同-42.3%)にとどまった。インバウンド需要は好調を維持しているが、アウトバウンド需要の回復は遅れている。

▶ 2月のサービス業の活動は対面型サービス業を中心に持ち直した(図7)。サービス業の生産活動を示す第3次産業活動指数(季節調整済み:2015年平均=100)をみれば、2月は102.1で前月比+1.5%上昇し、2カ月ぶりのプラスとなった(前月:同-0.5%)。また、対面型サービス業指数\*は99.2で同+2.4%上昇し、2カ月ぶりのプラス(前月:同-0.5%)。うち、運輸業(同+2.0%、2カ月ぶり)や飲食店、飲食サービス業(同+3.1%、2カ月ぶり)が上昇に寄与した。

▶ 観光関連指数\*\*(2015年平均=100)は、97.3と前月比+4.9%上昇し、3カ月連続のプラス(前月:同+0.1%)。うち、旅行業(同+63.5%、3カ月連続)や旅客運送業(同+5.1%、3カ月ぶり)が上昇に寄与した。

\*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

\*\*観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト動向」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

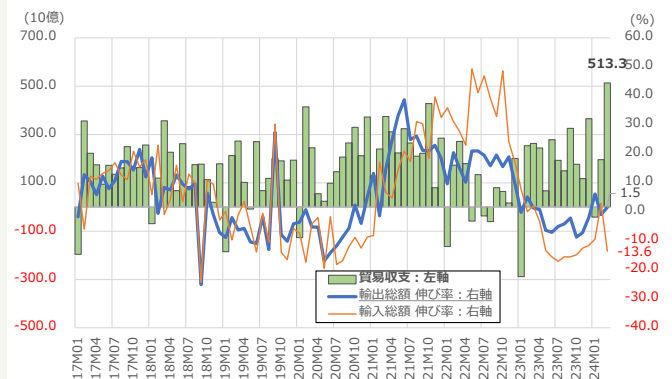
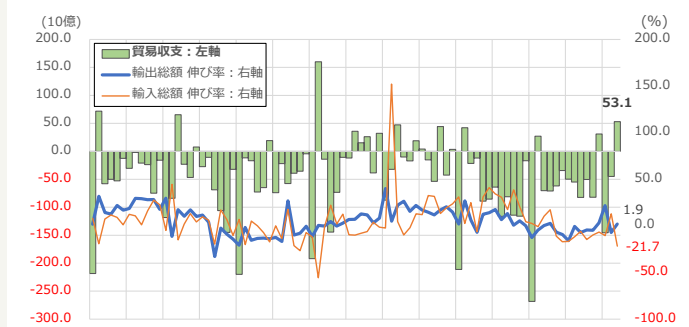
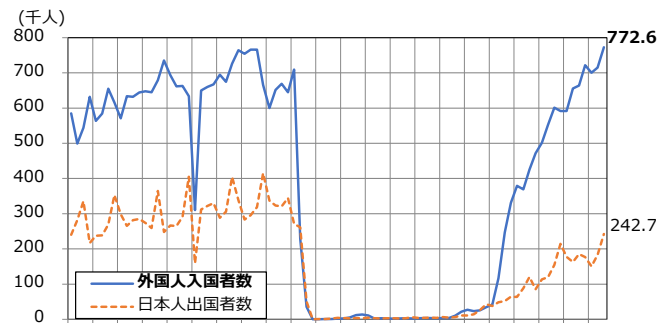


図5 関西 対中貿易の推移



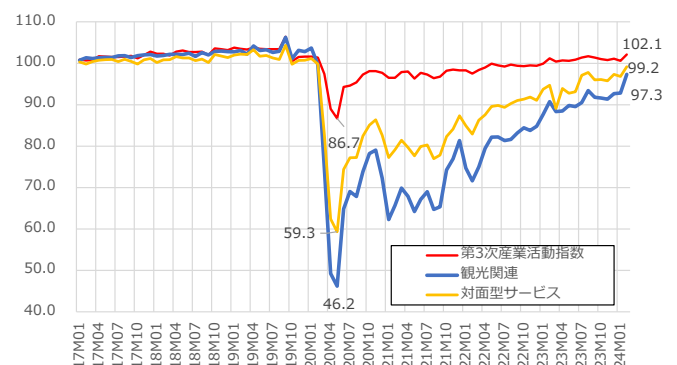
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2024年3月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

## トピックス 2

### ● 1月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、1月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は9,040.0千人泊であった(表1)。2019年同月比では+7.5%と5カ月連続で増加した(前月：同+12.8%)。

▶日本人延べ宿泊者数は6,231.0千人泊となった。2019年同月比+3.5%と5カ月連続で増加した(前月：同+3.1%)(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,299.1千人泊、京都府1,146.2千人泊、兵庫県1,010.7千人泊、三重県597.2千人泊、和歌山県278.0千人泊、滋賀県270.3千人泊、福井県176.2千人泊、鳥取県158.0千人泊、徳島県154.4千人泊、奈良県141.0千人泊であった。2019年同月比でみると、大阪府(同+16.2%)、兵庫県(同+6.3%)や奈良県(同+22.9%)がそれぞれ5カ月連続で増加し、日本人宿泊者の増加に寄与した。

▶外国人延べ宿泊者数は2,809.0千人泊となった。2019年同月比+17.7%と6カ月連続のプラス。増加幅は前月(同+41.6%)から縮小したものの、5カ月連続で2桁の伸びが続いている(表1及び図9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府1,755.3千人泊、京都府864.4千人泊、兵庫県90.9千人泊、和歌山県23.6千人泊、滋賀県22.4千人泊、奈良県16.9千人泊、三重県14.4千人泊、鳥取県7.9千人泊、福井県6.8千人泊、徳島県6.4千人泊であった。2019年同月比でみると、大阪府(同+24.4%)と京都府(同+17.2%)がいずれも7カ月連続で増加したものの、その他の県では減少となった。

▶関西2府8県延べ宿泊者を居住地別でみると(図10)、県内の延べ宿泊者数は1,232.7千人泊(2019年同月比+12.3%)、県外は7,531.5千人泊(同+9.2%)であった。県内は同+12.3%と28カ月連続のプラス。県外(含む外国人)は同+9.2%と5カ月連続のプラスとなった(前月：同+15.8%)。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

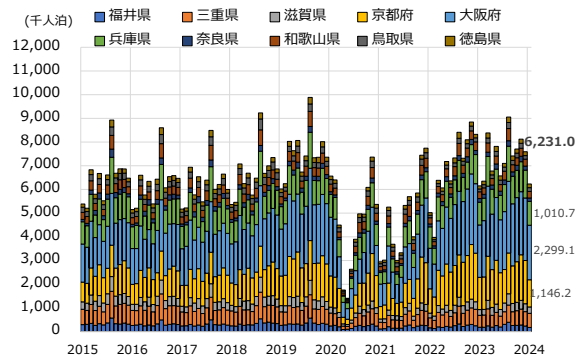


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

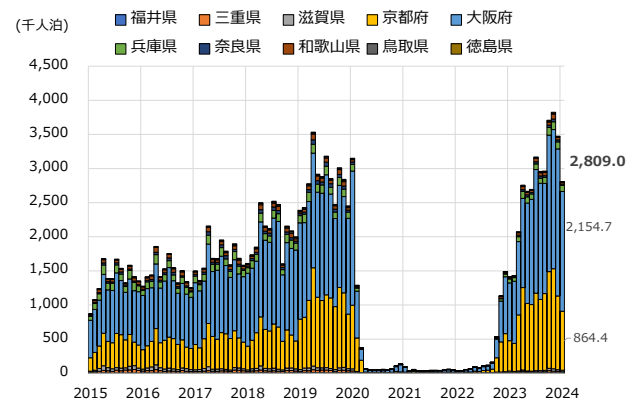
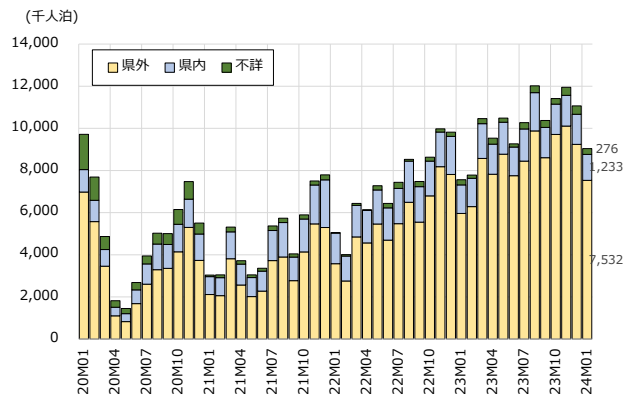


図10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：1月

2024年1月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数： (千人泊)	19年比伸び率： 当月(%)	19年比伸び率： 前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	19年比伸び率： 当月(%)	19年比伸び率： 前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	19年比伸び率： 当月(%)	19年比伸び率： 前月(%)
福井県	183.0	-32.8	-24.7	176.2	-33.5	-24.7	6.8	-5.4	-23.6
三重県	611.7	3.7	-4.0	597.2	5.0	-3.3	14.4	-31.5	-20.8
滋賀県	292.7	0.8	-0.1	270.3	2.7	2.2	22.4	-17.5	-24.3
京都府	2,010.6	1.1	21.7	1,146.2	-8.3	14.8	864.4	17.2	35.4
大阪府	4,054.4	19.6	21.3	2,299.1	16.2	3.7	1,755.3	24.4	53.3
兵庫県	1,101.6	4.2	10.9	1,010.7	6.3	10.4	90.9	-14.6	16.3
奈良県	157.9	10.2	4.4	141.0	22.9	6.3	16.9	-40.7	-6.2
和歌山県	301.6	-10.2	-14.3	278.0	-10.2	-16.0	23.6	-9.9	1.3
鳥取県	165.8	-9.1	-29.4	158.0	-5.8	-28.2	7.9	-46.3	-46.7
徳島県	160.7	1.2	-7.5	154.4	1.6	-6.9	6.4	-9.3	-17.4
関西2府4県	7,918.8	9.9	17.1	5,145.2	5.7	6.6	2,773.6	18.7	43.4
関西2府8県	9,040.0	7.5	12.8	6,231.0	3.5	3.1	2,809.0	17.7	41.6
全国	45,650.1	6.9	7.6	34,414.7	2.8	1.3	11,235.5	22.0	34.0

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」(図8~10及び表1)より筆者作成

### トピックス 3

#### ● 2024年1-3月期訪日外国人消費の動向

▶観光庁によれば、**2024年1-3月期の訪日外国人消費額**(速報、全目的ベース)は**1兆7,505億円**となり(図11)、**四半期調査としては過去最高額を更新した**(10-12月期:1兆6,793億円)。

**2019年同期比+52.0%と3四半期連続のプラス**。円安の影響もあり、旅行者の消費意欲が高まり、1人当たりの旅行支出が増加した影響が表れた。

▶訪日外国人消費のトップ5を国・地域別にみれば(図12)、中国が3,526億円(2019年同期比-16.9%)と最多であった。次いで、台湾が2,512億円(同+64.8%)、韓国が2,379億円(同+55.1%)、米国が1,716億円(同+179.5%)、香港が1,543億円(同+86.4%)と続く。

▶**一般客1人当たり旅行支出**(全目的)は**20万8,760円**となった。**2019年同期比+41.6%と2四半期連続で増加幅が拡大した**(7-9月期:同28.5%、10-12月期:同+29.1%)。国・地域別にみれば(表2)、オーストラリアが37万3,343円(同+52.1%)と最も高い。次いで、英国が36万7,434円(同+97.5%)、スペインが35万1,760円(同+105.3%)、フランスが31万4,305円(同+79.0%)、米国が30万2,621円(同+79.7%)となっている。**欧米豪を中心に単価は着実に上昇しつつある**。

▶1-3月期の1人1泊当たり旅行支出をみれば(表3)、2万2,456円となり、2019年同期比+29.5%増加した。費目別では、宿泊費(同+43.8%)、飲食費(同+28.0%)、交通費(同+41.9%)、娯楽等サービス費(同+96.9%)、買物代(同+7.3%)がいずれも増加した一方、その他(同-25.3%)は減少となった。**買物代に比して、娯楽等サービス費等のコト消費に加え、宿泊費が大きく伸びていることが特徴的である**。なお、平均泊数が19年同期差0.8泊伸びている。

\*トピックス3は四半期ごとの掲載である。

図11 訪日外国人消費額の推移

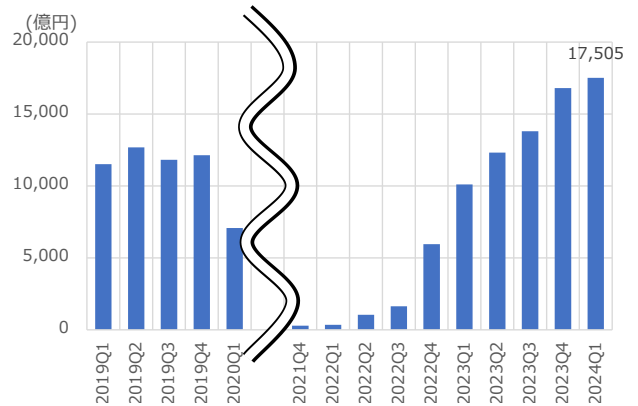
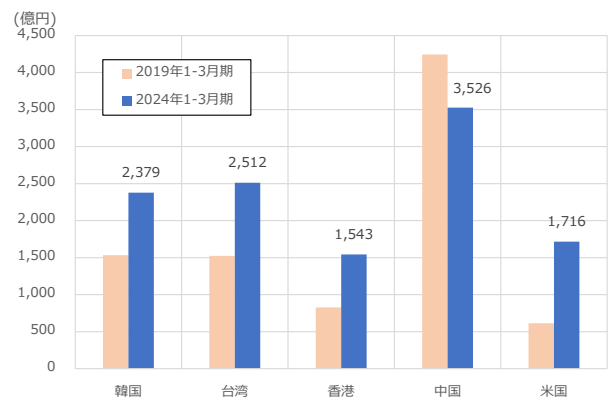


図12 訪日外国人消費額の上位5か国・地域：2024年1-3月期



(注)「訪日外国人」には、観光・レジャー目的に加えビジネス目的や親族・知人訪問目的などで日本を訪れた外国人が含まれる。日本に居住している外国人は含まれない。「クルーズ客」は船舶観光上陸許可者。2023年までは確報、24年1-3月期は速報。

出所:観光庁『訪日外国人消費動向調査』より作成(図11も同様)

表2 国・地域別一般客1人当たり旅行支出(全目的)：2024年1-3月期

国・地域	全体	韓国	台湾	香港	中国	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム
2019年1-3月期(円/人)	147,413	73,733	130,518	164,813	218,362	131,544	168,602	133,567	124,197	97,208	181,956
2024年1-3月期(円/人)	208,760	101,763	173,512	250,322	293,050	176,027	280,333	222,901	225,366	192,014	236,591
19年同期比(%)	+41.6	+38.0	+32.9	+51.9	+34.2	+33.8	+66.3	+66.9	+81.5	+97.5	+30.0
国・地域	インド	英国	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	ロシア	米国	カナダ	オーストラリア	その他
2019年1-3月期(円/人)	140,663	186,026	187,590	175,603	154,456	171,348	141,467	168,409	160,972	245,533	178,160
2024年1-3月期(円/人)	206,072	367,434	291,055	314,305	302,419	351,760	-	302,621	259,332	373,343	283,696
19年同期比(%)	+46.5	+97.5	+55.2	+79.0	+95.8	+105.3	-	+79.7	+61.1	+52.1	+59.2

表3 一般客1人1泊当たり旅行支出(全目的)：2024年1-3月期

1人1泊当たり旅行支出	総額	費目別						平均泊数(泊)
		宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他	
2019Q1(円/人)	17,343	5,031	3,820	1,715	701	6,062	13	8.5
2024Q1(円/人)	22,456	7,235	4,891	2,433	1,380	6,508	10	9.3
19年同期比(%)	+29.5	+43.8	+28.0	+41.9	+96.9	+7.3	-25.3	+0.8

(注)2023年10-12月期統計からロシアの結果が公表された。ただし、24年1-3月期では十分な回答数が確保できなかったため、全国籍・地域の集計対象には含まれているが、ロシア単体での公表は行われていないことに注意。

出所:観光庁『訪日外国人消費動向調査』より作成。

表4 2024年3月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2024年	伸率(%)	2019年	2024年	伸率(%)
	3月	3月		1-3月	1-3月	
総数	2,760,136	3,081,600	11.6	8,053,797	8,558,100	6.3
総数(中国除く)	2,068,857	2,629,200	27.1	5,884,480	7,230,200	22.9
韓国	585,586	663,100	13.2	2,080,773	2,338,600	12.4
中国	691,279	452,400	-34.6	2,169,317	1,327,900	-38.8
台湾	402,433	484,400	20.4	1,189,760	1,478,900	24.3
香港	171,430	231,400	35.0	505,046	623,600	23.5
タイ	147,443	131,700	-10.7	347,937	323,700	-7.0
シンガポール	43,687	61,000	39.6	92,465	132,000	42.8
マレーシア	50,615	41,900	-17.2	118,674	134,200	13.1
インドネシア	39,609	37,400	-5.6	96,708	116,900	20.9
フィリピン	48,277	78,800	63.2	119,434	200,800	68.1
ベトナム	47,881	67,400	40.8	122,633	172,100	40.3
インド	17,752	27,200	53.2	39,291	49,800	26.7
豪州	44,175	82,800	87.4	172,896	252,900	46.3
米国	176,564	290,100	64.3	372,424	570,700	53.2
カナダ	37,959	57,800	52.3	84,135	123,400	46.7
メキシコ	5,740	15,500	170.0	12,244	30,000	145.0
英国	38,610	56,400	46.1	83,718	102,100	22.0
フランス	29,408	34,700	18.0	62,125	71,400	14.9
ドイツ	28,659	47,600	66.1	53,401	72,900	36.5
イタリア	14,956	24,400	63.1	26,886	38,900	44.7
スペイン	8,916	16,800	88.4	17,831	27,900	56.5
ロシア	11,701	10,600	-9.4	23,618	16,700	-29.3
北欧地域	13,657	18,100	32.5	31,046	34,400	10.8
中東地域	11,726	11,900	1.5	19,292	24,000	24.4
その他	92,073	138,200	50.1	212,143	294,300	38.7

表5 2024年1月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2024年	伸率(%)	2019年	2024年	伸率(%)	2019年	2024年	伸率(%)	2019年	2024年	伸率(%)
	1月	1月		1月	1月		1月	1月		1月		
総数	2,689,339	2,688,478	0.0	2,345,029	2,386,640	1.8	138,566	88,781	-35.9	205,744	213,057	3.6
韓国	779,383	857,039	10.0	723,799	821,971	13.6	30,426	17,086	-43.8	25,158	17,982	-28.5
中国	754,421	416,088	-44.8	654,818	325,521	-50.3	27,959	19,967	-28.6	71,644	70,600	-1.5
台湾	387,498	492,288	27.0	367,231	474,810	29.3	9,816	7,142	-27.2	10,451	10,336	-1.1
香港	154,292	186,300	20.7	149,767	182,289	21.7	2,983	1,770	-40.7	1,542	2,241	45.3
タイ	92,649	90,585	-2.2	85,718	85,460	-0.3	3,065	1,950	-36.4	3,866	3,175	-17.9
シンガポール	22,676	34,140	50.6	19,336	31,972	65.3	2,774	1,717	-38.1	566	451	-20.3
マレーシア	31,399	32,079	2.2	27,893	29,644	6.3	2,061	1,183	-42.6	1,445	1,252	-13.4
インドネシア	32,477	41,287	27.1	26,593	31,029	16.7	1,801	1,059	-41.2	4,083	9,199	125.3
フィリピン	35,987	56,776	57.8	24,727	43,193	74.7	2,726	3,872	42.0	8,534	9,711	13.8
ベトナム	35,375	44,602	26.1	5,657	6,360	12.4	2,114	2,253	6.6	27,604	35,989	30.4
インド	12,468	12,608	1.1	2,390	3,248	35.9	4,503	3,077	-31.7	5,575	6,283	12.7
豪州	81,063	103,604	27.8	77,030	101,030	31.2	2,198	1,297	-41.0	1,835	1,277	-30.4
米国	103,191	131,855	27.8	75,253	113,870	51.3	16,971	9,092	-46.4	10,967	8,893	-18.9
カナダ	22,293	31,672	42.1	18,665	29,571	58.4	1,706	803	-52.9	1,922	1,298	-32.5
メキシコ	3,615	6,805	88.2	2,797	6,128	119.1	368	241	-34.5	450	436	-3.1
英国	21,554	19,809	-8.1	14,225	15,157	6.6	4,267	2,294	-46.2	3,062	2,358	-23.0
フランス	15,320	14,444	-5.7	8,539	10,254	20.1	3,572	1,760	-50.7	3,209	2,430	-24.3
ドイツ	11,358	10,402	-8.4	5,525	6,755	22.3	4,254	2,257	-46.9	1,579	1,390	-12.0
イタリア	6,033	6,879	14.0	3,424	5,028	46.8	1,612	912	-43.4	997	939	-5.8
ロシア	6,316	3,242	-48.7	4,062	1,901	-53.2	1,237	562	-54.6	1,017	779	-23.4
スペイン	4,382	4,769	8.8	2,704	3,666	35.6	760	384	-49.5	918	719	-21.7
中東地域	3,936	5,886	49.5	2,311	4,883	111.3	839	506	-39.7	786	497	-36.8
その他	71,653	85,319	19.1	42,565	52,900	24.3	10,554	7,597	-28.0	18,534	24,822	33.9

注) 目的別訪日外客数の定義については、図3 注参照。

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2024年4月18日付より筆者加工